

ケーススタディ

DB Schenkerの医薬品輸送追跡・管理における Releye[®]ライブモニタリングデータの活用成功例

さまざまな要素が絡み合う医薬品輸送の世界では正確性と管理が最重要であり、温度に敏感な医薬品の安全な輸送には特有の課題が存在します。これらの製品はデリケートで、製品の効果を維持するために特定の温度条件を維持しなければならないことがよくあり、サプライチェーン全体にわたって洗練された厳格な制御プロセスを必要とします。

この記事では、DB SchenkerのIoTシステムに Envirotainer Releye[®]コンテナが提供するリアルタイムのデータを統合するという革新的なソリューションによって、医薬品輸送の方法にどのような革命をもたらされたのかをご紹介します。救命医薬品を世界中で有効に利用し続けられるようにしていく上で、製品の損耗が環境に対する影響の軽減に与えるリスクを軽減し、シームレスなコールドチェーンの実現を推進していくことが今まで以上に重要になってきています。

医薬品輸送の追跡・管理強化

DB Schenkerは世界の主要なグローバルロジスティクス事業者のひとつであり、温度に敏感な医薬品の航空輸送を得意としています。長年にわたって、顧客への納品品質に対する強い責任感と、輸送する製品の複雑さに対する深い理解を示しています。その高い要求水準を満たし、輸送する製品の安全を確保するために、同社は綿密な標準運用手順（SOP）を活用し、温度などの主要なデータを追跡・管理するための追跡装置を荷物に取り付けています。改善に向けた継続的な取り組みの一環として、DB Schenkerはある課題に対応するためのプロジェクトをEnvirotainerとともに開始しました。



「どうすれば、手作業を削減しつつ、顧客にさらなる価値を提供できるのか」

このケーススタディでは、Envirotainerデベロッパーガイドを使用してコンテナデータをリアルタイムで可視化するまでの経緯をご紹介します。

技術革新のニーズを認識する

DB Schenkerは、温度に敏感なバイオ医薬品を安全に輸送するにあたって輸送経路の全体を完全に可視化する場合、人力での管理では金銭、時間、リソースといったコストがかかりすぎることに気づきました。運営を最適化して輸送中の荷物を追跡・管理する能力を強化するために、DB SchenkerはEnvirotainerをパートナーとして、弊社のリアルタイムコンテナデータをより効果的に活用できる方法を探るプロジェクトに着手しました。



技術革新の実現

DB Schenkerは、Releye®のライブ輸送データにより効果的な活用についてEnvirotainerにアプローチした際、3つの重要な要件を提示しました。

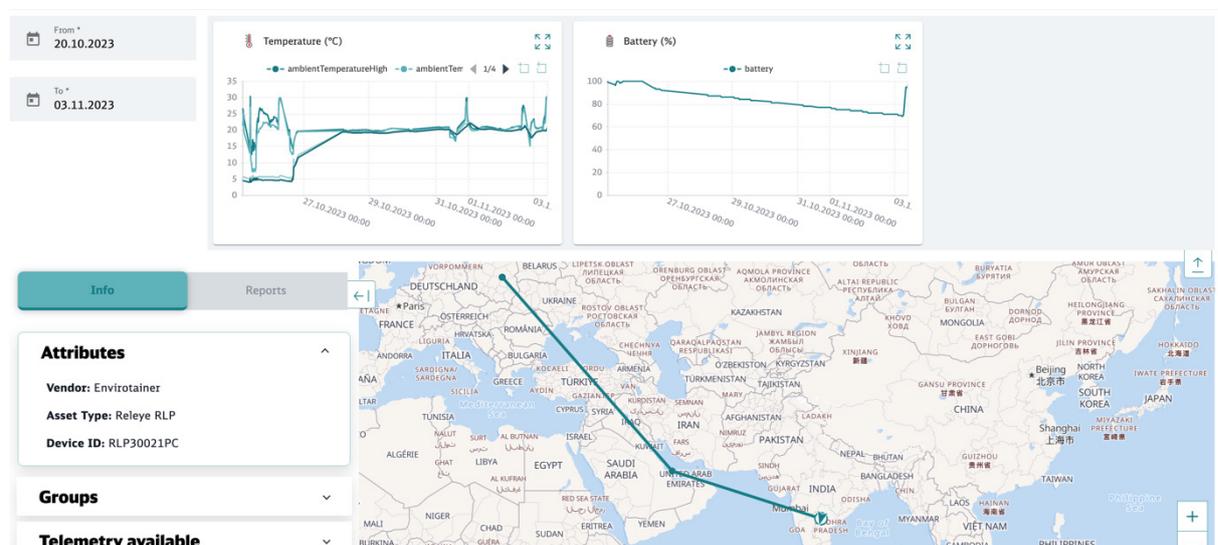
- 顧客の荷物について、高い品質と信頼性を提供しつづけるソリューションであること。
- 輸送の追跡・管理に必要な手作業（そしてヒューマンエラーの潜在的リスク）の量を削減できるソリューションであること。
- 温度、バッテリー残量、位置などの主要データを含め、荷物の可視性を高めるソリューションであること。

弊社は、EnvirotainerのポータルサイトからさまざまなデータポイントにアクセスするためのAPI（Application Programming Interface）を含んだデベロッパーガイドを導入しました。DB Schenkerはこのガイドを使ってReleye®コンテナのデータを自社のIoTプラットフォームに組み込むことができ、2つのシステムをリンクするために必要となる技術面の開発はほとんどないことを説明しました。

DB Schenkerは、セルフサービスのデベロッパーガイドを活用してこの統合を完全に社内で行い、ソリューションの実行に必要な追加のリソースを最小限にしました。弊社は着手時と取りまとめの時にのみ関与しただけで、DB Schenkerの開発者チームは比較的短い時間で自社システムへの統合を実現しました。

結果

EnvirotainerのコンテナデータがDB Schenkerのシステムに統合されたことで、運営に大きな好影響がありました。ひとつのプラットフォームにすべてを統合し、Releye®ソリューションを利用してすべての荷物を包括的に追跡・管理できるようになりました。Envirotainerポータルからのデータフィードは、コンテナの詳細、バッテリー残量、コンテナ内外の温度、位置追跡情報など、最新の情報をリアルタイムで提供します。



DB SchenkerのIoTプラットフォームに表示されたReleye®ユニットのライブ位置追跡情報

APIとは

API（Application Programming Interface）とは、2つの異なるアプリケーション（この場合はEnvirotainerポータルとDB SchenkerのIoTシステム）の間を仲介するものです。APIによって、組織間でデータの抽出や共有が可能になります。

Envirotainerポータルを貴社のシステムとリンクすると、追跡手段を別に開発するコストをかけることなく荷物のデータを集約でき、荷物についての最新データが確実に提供されます。



DB Schenkerは、それぞれのReleye®ユニットを「フルタイム従業員」として利用し、Envirotainerと提携して弊社のAPIを活用することで、荷物の可視性、信頼性、品質を向上させると同時に、必要となる人力での作業の量を削減することに成功しましたが、このソリューションを実現するために追加のコストはまったく生じていません。

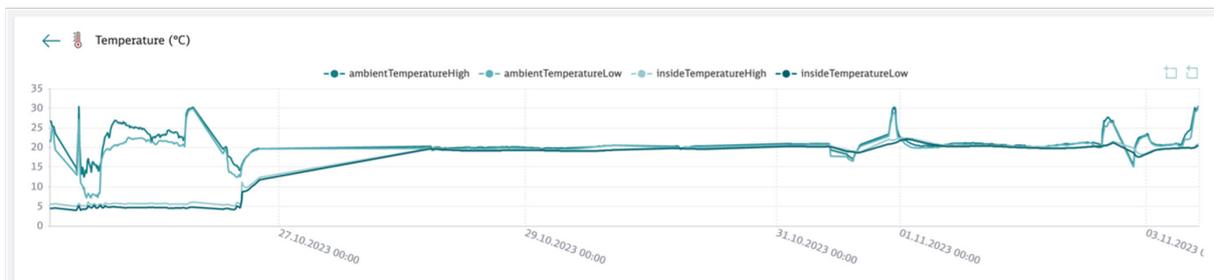
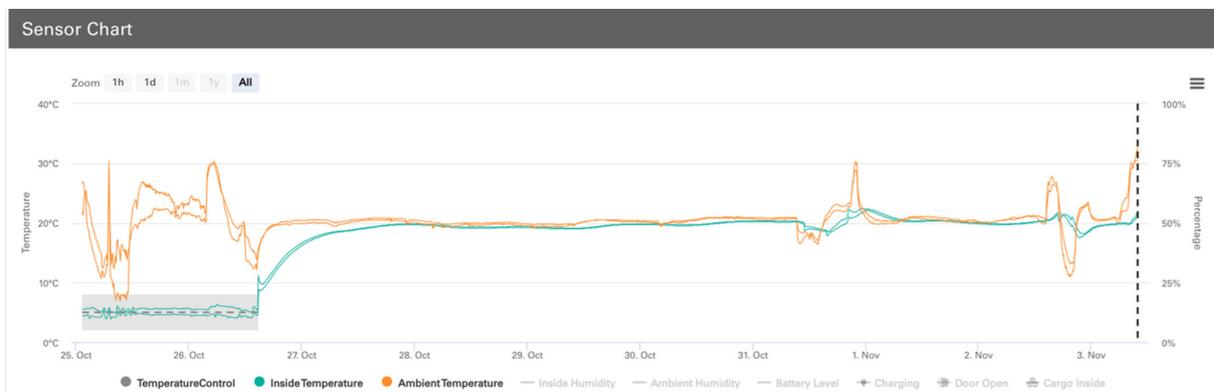
DB Schenkerは新しく手にした可視性を利用して、コントロールタワーサービスを実現することで、さらにその運営を強化する計画を立てています。このサービスにより、予期しない事態が発生したとき、荷物から受信したデータを基に先回りして対応することが可能になります。潜在的な問題をリアルタイムに特定して対処することでCO₂の排出量を削減し、温度の逸脱の可能性を調べるためのコストを軽減することができます。

DB Schenkerの空輸運営センター長のBen Zervas氏はこう述べています。「当社のチームは、EnvirotainerのReleye®コンテナデータをDB Schenkerのシステムで受信することで、Envirotainerユニットに収められた当社の輸送する医薬品を効果的かつ効率的に追跡できるようになりました。リアルタイムのデータにより、先回り

して対応して製品の完全製が損なわれる潜在的なリスクを軽減するだけでなく、顧客に対して正確な最新情報を提供することができます」

EnvirotainerのグローバルキーアカウントマネージャであるMichael (Mikey) Langford氏はこう付け加えています。「Schenkerと弊社との提携は、顧客に卓越性を提供するという弊社の責任を果たしながら、排出を削減してより持続的な未来を創造することを目指しています。プラットフォームでReleye®コンテナのデータを利用できるようにすることで、DB Schenkerはコントロールタワーというサービスを実現しました。これは高品質のコールドチェーン管理という分野における重要な転換点であり、Schenkerとともにこれを推進できることを喜んでいます」

この成功例は、DB Schenkerのロジスティクスにおける卓越性と、温度に敏感なバイオ医薬品の安全かつ効率的な輸送という価値を顧客に提供するために革新的な方法を追求する同社の責任感を体現しているのです。



Envirotainerポータル (上) とDB SchenkerのIoTシステム (下) における温度データの比較



Envirotainerデベロッパーガイドについて

APIを活用してEnvirotainerのデジタルサービスに貴社のアプリケーションを接続し、ビジネスを成長させましょう。Envirotainer APIについての文書にアクセスし、サインアップして簡単に活用するためのデベロッパーガイドがあります。貴社の開発者の仕事を加速し、貴社の成功を約束します。弊社では、利用可能なAPIを継続的に拡大しています。

現在、Releye®の注文とライブ荷物データのAPIを提供しています。弊社では、利用できるAPIを継続的に追加、拡大しています。

Envirotainer APIデベロッパーガイドについては下記を参照してください。

<https://www.envirotainer.com/digital-services/developer-guide/>

DB Schenkerについて

130カ国1,850ヶ所を超える拠点で約76,600人の従業員が働くDB Schenkerは、世界の主要なロジスティクス事業者のひとつです。同社は陸運、空輸、海運事業を行っており、単独で包括的なロジスティクスとグローバルなサプライチェーン管理ソリューションを提供することができます。2040年までに炭素排出量実質ゼロを達成するという野心的な目標を達成するために、同社は顧客に向けた革新的な輸送ソリューション、再生可能エネルギー、カーボンニュートラル製品への投資を継続的に行っています。

